

令和9年度（令和8年度実施）島根県公立学校教員採用候補者「一般選考試験」の出願状況について

1 出願状況

(1) 全体の状況

出願者数は、1,098名*（昨年度1,174名） 倍率は、2.9倍（昨年度3.3倍）

（会場別内訳：県内 623名（昨年度656名）、大阪 361名（昨年度384名）、東京 34名（昨年度62名）、福岡 46名（昨年度39名）、全免除 34名（昨年度33名））

* 出願者数は、併願者の第1志望及び第2志望ともに計上（併願者数 42名（昨年度31名））

(2) 出願者数と倍率 ※（ ）は昨年度

校種・職種	採用予定者数	出願者数	増減	倍率
小学校教諭* ¹	150名程度（150名程度）	323名（342名）	▲19名	2.2（2.3）
中学校教諭* ¹	140名程度（130名程度）	295名（318名）	▲23名	2.1（2.4）
高等学校教諭	42名程度（40名程度）	264名（292名）	▲28名	6.3（7.3）
特別支援学校教諭* ¹	28名程度（25名程度）	38名（44名）	▲6名	1.4（1.8）
養護教諭	10名程度（10名程度）	151名（145名）	6名	15.1（14.5）
栄養教諭	1名程度（1名程度）	26名（29名）	▲3名	26.0（29.0）
障がいのある方を対象とした募集* ²	3名程度（3名程度）	[3名]（2名）	1名	
島根かみあり国スポ競技力向上枠	1名（若干名）	1名（4名）	▲3名	
オリンピック等対象トップアスリート特別枠	若干名（-）	0名（0名）	-	
合計	375名程度（360名程度）	1,098名（1,174名）	▲76名	2.9（3.3）

*1 島根創生特別枠の出願者数26名、島根連携特別枠8名を含む。

*2 すべての校種・職種で募集。出願する校種・職種を含む。

(3) 特別枠出願者数の内訳 ※（ ）は昨年度

特別枠	校種・職種等		採用予定者数	出願者数
島根創生特別枠	小学校教諭	全県	20名程度 ※一般枠の募集人数を含む (20名程度)	9名（10名）
		数理全県		1名（0名）
		英語全県		0名（0名）
		特別支援教育担当		0名（0名）
島根創生特別枠	中学校教諭	全県	15名程度 ※各教科の募集人数は1～2名程度 ※一般枠の募集人数を含む (15名程度)	15名（7名）
		特別支援教育担当		0名（0名）
特別支援学校教諭	小学部、中学部（技術）、中学・高等部（全教科）、高等部（情報） 【中学部・高等部を追加】		5名程度 ※一般枠の募集人数を含む (3名程度)	1名（参考2名）

島根 連携 特別枠 【新規】	小学校教諭	全県		10名程度 ※一般枠の募集人数を含む (一名)	8名
		数理全県			0名
		英語全県			0名
		特別支援教育担当			0名
	中学校教諭	全県	国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、保健体育、技術、家庭		0名
		特別支援教育担当			0名
特別支援学校教諭	小学部、中学部(技術)、中学・高等部(全教科)、高等部(情報)		0名		
島根かみあり国スボ競技力向上枠※1	高等学校教諭【中学校、特別支援学校の募集枠無し】	全県	保健体育	1名 ※一般枠の募集人数に含まない (若干名)	1名 (3名) (他特支1名)
オリンピアン等対象トップアスリート特別枠	小学校教諭	全県		若干名 ※一般枠の募集人数に含まない	0名 (0名)
	中学校教諭	全県	保健体育		0名 (0名)
	高等学校教諭	全県			0名 (0名)
	特別支援学校教諭	小学部			0名 (0名)
		中学・高等部	保健体育		0名 (0名)

※1 対象競技は、相撲

(4) 併願者数 ※ () は昨年度

	第1志望	第2志望(併願先)	出願者数
ア	中学校教諭(全募集区分・教科)	小学校教諭(全募集区分)	30名 (19名)
イ	中学校教諭(全募集区分・教科) 【全募集区分・教科に拡大】	中学校教諭(美術、技術、家庭) 【※美術を追加】	0名 (参考0名)
ウ	高等学校教諭(全募集区分・教科)	小学校教諭(全募集区分)	4名 (4名)
エ	高等学校教諭(情報受験者以外)	高等学校教諭(情報)	3名 (5名)
オ	高等学校教諭(全募集区分・教科)	特別支援学校教諭(中学部、中学・高等部、高等部)	3名 (1名)
カ	特別支援学校教諭(中学部、中学・高等部、高等部)	特別支援学校教諭(小学部)	1名 (2名)
キ	養護教諭	小学校教諭(全募集区分)	1名 (一名)
ク	栄養教諭	中学校教諭(家庭)	0名 (一名)

(5) 島根独自の特色ある採用への出願状況 ※ 上記(2)の内数、() は昨年度

募集区分等	校種・職種	採用予定者	出願者数
小学校の算数・理科分野で高い専門性を持つ者	小学校	10名程度 (12名程度)	5名 (5名)
小学校英語教育のリーダー的役割を担う教員	小学校	10名程度 (10名程度)	5名 (8名)

小学校の特別支援教育担当	小学校	若干名	6名 (4名)
中学校の特別支援教育担当	中学校	若干名	6名 (8名)
石見地域・隠岐地域限定採用	小学校	20名程度 (20名程度) 【R9石見地域のみ】	16名 (参考 10名)
	中学校	23名程度 (23名程度)	23名 (27名)
	高等学校	若干名 (若干名) ※隠岐地域のみ	0名 (3名)
県外国公立学校現職教員への特例 (第1次試験全免除)	小・中・特	—	9名 (10名)
前年度第2次試験A評価者等への特例 (第1次試験全免除)	全校種・職種	—	9名 (6名)
前年度第2次試験「繰り上げ登載候補者」のうち名簿 登載にならなかった者への特例 (第1次試験全免除)	全校種・職種	—	16名 (17名)
常勤講師等経験者のうち前年度第2次試験受験対象者 への特例 (第1次試験一部免除及び加点)	全校種・職種	—	106名 (125名)
石見地域・隠岐地域の限定受験者のうち、市町村教育 委員会教育長から推薦された者への特例(第1次試験一 部免除及び加点)	小・中 地域限定	—	2名 (1名)
国公私立学校正規教員経験者への特例 (第1次試験一部免除及び加点)	小・中・特	—	7名 (5名)
県外国公立学校現職教員への特例 (第1次試験加点)	高・養・栄	—	9名 (8名)
国公私立学校正規教員経験者への特例 (第1次試験加点)	高・養・栄	—	2名 (5名)
常勤講師等への特例 (第1次試験加点)	全校種・職種	—	113名 (90名)
非常勤講師等への特例 (第1次試験加点)	全校種・職種	—	4名 (4名)
第84回国民スポーツ大会に向けた指導者等への特例 (第1次試験加点)	全校種・職種	—	13名 (4名)

2 試験内容等

(1) 第1次試験

① 内容等

試験内容	期日	会場
教職教養試験 専門教養試験 論述試験	5月9日(土)	松江会場：くにびきメッセ 大阪会場：CIVI 研修センター新大阪東 東京会場：都道府県会館 福岡会場：TKP 博多駅筑紫口ビジネスセンター

② 結果の通知

令和8年5月27日(水) 午前9時に教員採用試験受験等申込みシステムのマイページで通知する。

(2) 第2次試験

① 内容等

試験内容	期日	会場
個人面接 (模擬授業等・場面指導含む) 実技	6月21日 (日) ～ 7月7日 (火)	【県内】 松江市民活動センター くにびきメッセ、島根県職員会館 【県外】※小学校及び特別支援学校専願受験者のみ 大阪会場：TKP 新大阪ビジネスセンター 東京会場：都道府県会館

※ 模擬授業等課題を受験者に通知

※ 追試験は7月18日(土)に実施

(対象) 感染症や災害などやむを得ない事情により第2次試験を受験できなかった者

② 結果の通知

令和8年8月5日(水)午前9時に教員採用試験受験等申込みシステムのマイページで通知する。

※ 第2次試験不合格者のうち、若干名を繰り上げ登載候補者として通知。名簿登載者の辞退等により採用予定者数に満たない場合には、繰り上げ登載候補者を名簿に登載する。